

三朝町 こども公園構想計画

令和7年6月
鳥取県三朝町

第1章 計画策定にあたって

1 これまでの経過

近年の社会全体でこどもの健やかな成長を支援しようという動きの中で、こども・子育て施策や、子育てしやすい環境整備に注目が集まっています。

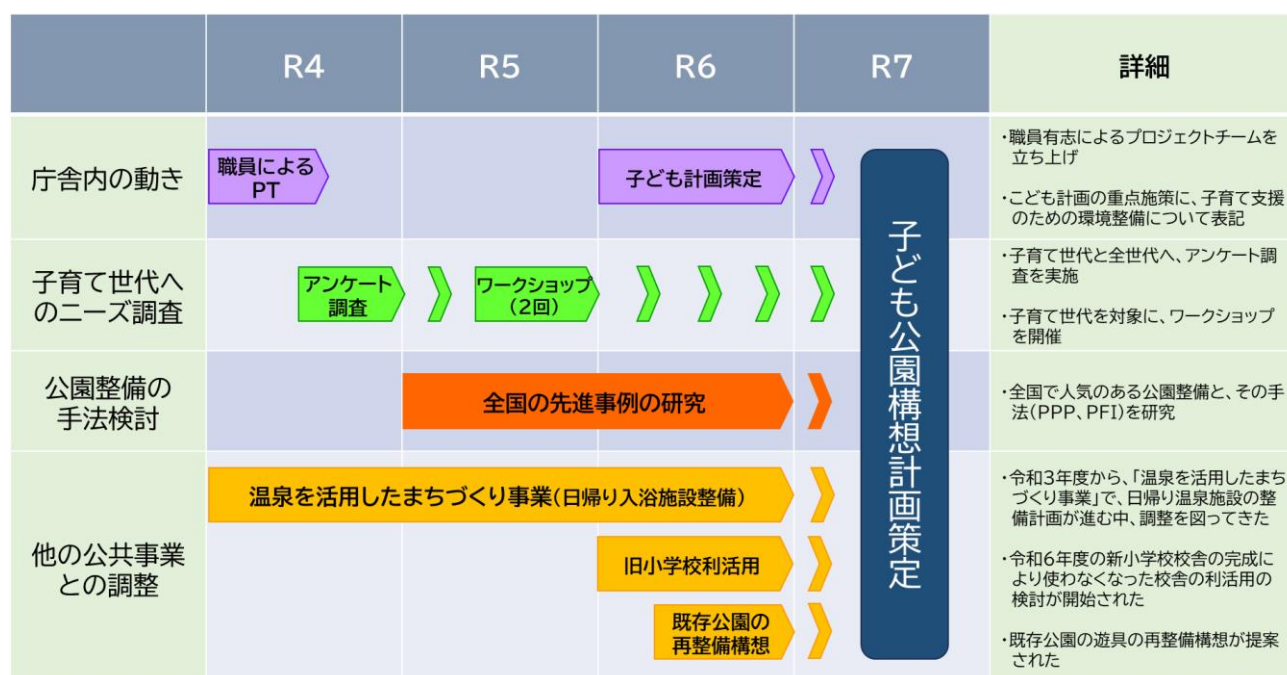
こどもにとっての公園・遊び場は、多様な体験活動や外遊びを通して、身体的能力、想像力、知的好奇心などを育てる場です。そして、こどもは体験と挑戦を繰り返し、様々な学びや社会で生き抜く力を養っていきます。また、親にとっては、こどもとの触れ合いを楽しむとともに、安全・安心な環境の中でこどもを遊ばせる間は、日常の忙しさから少し離れ、心身の休息を得ることができる場として、公園整備に大きな期待がかかるところです。

三朝町では、以前より子育て世代から、こどもが遊べる遊具がある施設の充実や、雨天の日も遊べる場所の整備などについて、多数の要望が寄せられてきました。これに対し、第2期松浦町政の所信表明で公園整備の実現を目指していくことを表明し、令和4年度に、職員有志で構成するプロジェクトチームを立ち上げたことをきっかけに、公園構想の検討をスタートさせました。

公園構想の推進には、「町民との共感」を根底に置き、町民の公園に対するニーズを知ること、子育て当事者の方々と意見を交わすことを第一に検討を進めてきています。

そして、公園に対する共通の思いとして、三朝町らしい豊かな自然や温泉資源を活用するとともに、こどもや子育て世代だけではなく、町全体のコミュニティの活性化につながり町のシンボルになってほしいと、公園の将来像を思い描くところです。

引き続き、町民皆様との共感を大切に、集めたいくなる公園の整備を目指し、まちづくり施策とも調整を図りながら公園構想を推進していきます。



図：公園づくり計画構想計画策定の流れ

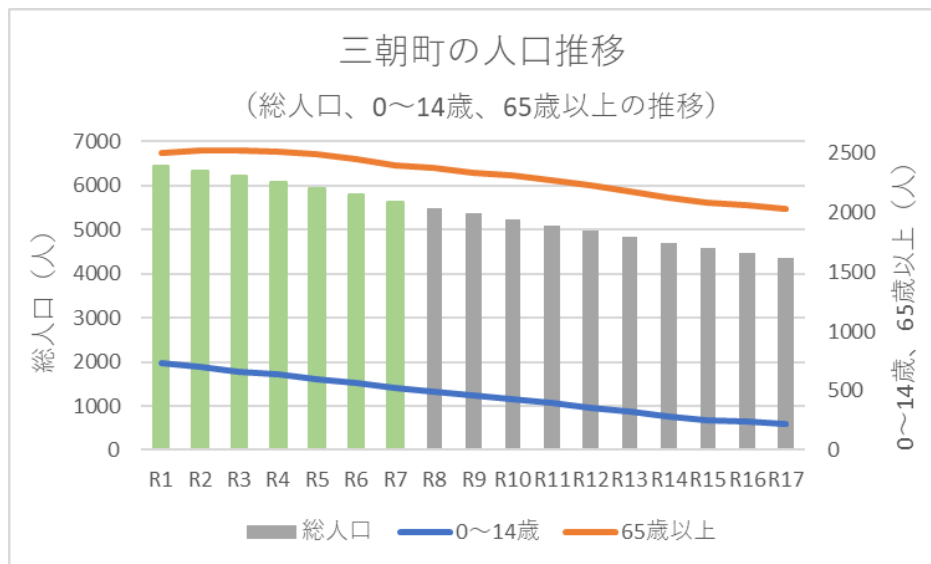
2 現状と課題

(1) 人口減少、少子化の中での世代間交流

三朝町では急速に人口減少、少子化が進行しており、中学生以下の人口は令和7年で525人ですが、10年後の令和17年度には約半分となる220人程度に減少していくと推計しています。また、65歳以上の高齢者の人口も、令和5年度頃から減少に転じており、以降、徐々に減少していくと推計しています。

少子化や人口減少に歯止めがかからない中、施策の軸足を「質の向上」に置き、町民の生活をより豊かにする施策を進めていくことが求められます。このことから、あらためて人と人のつながりや、社会的ネットワーク（社会関係資本）の大切さに立ち返るところです。

公園構想では、こどもから高齢者まで、世代を超えた交流が生まれ、コミュニティの活性化につながる施設を整備することで、ひいてはそれが、地域ぐるみでの子育て支援、心身の健康づくり、介護予防等につながっていく相乗効果が期待されます。



※毎年4月1日時点の数値を表しており、令和7年度までは実績値、令和8年度以降は推計値です。

(2) 公園整備のニーズ

公園等の公共施設が老朽化し、十分にそのポテンシャルを活かしきれていない施設も出てきています。

現在町内にある公園は、集落内に整備された、いわゆる児童公園のような遊び場や、公共の広場の一角に遊具が設置されたようなもので、こどもが十分に遊び込むだけの遊具はありません。そのため、子育て世代は、設備の充実している近隣市町の公園へ出かけている実態があります。また、町内をはじめ中部には、雨の日も遊べる場所が限られており、全天候型の公園を望む声が多くあります。

また、公園への期待は多様化しており、こどもと一緒に出かける親や祖父母がくつろげることや、Wi-Fi環境の整備、飲食スペースの設置や催し物の開催等、複合的な機能を望む声があります。

(3) まちづくりのあり方と公園

まちづくり全体を考えると、「温泉と健康のまちづくり事業」の日帰り入浴施設の整備、旧三朝小学校校舎の利活用など、現在進行中の事業と調整を図ることで、一体的な整備が実現し、複合的な機能を有する施設整備へつながっていきます。

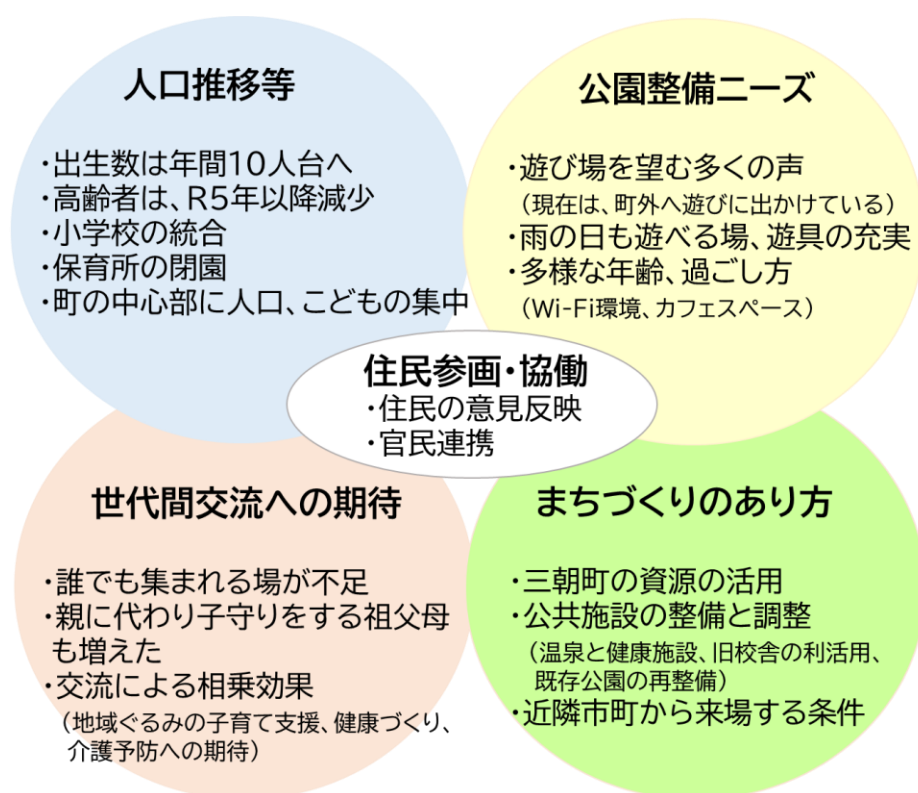
町の一か所に温泉や運動施設など多様な機能を集中させることで人の集まりを創出し、また、いくつかの公園を整備し、公園ごとのコンセプトやターゲットとする対象者を棲み分けすることで、町民皆さんの多様なニーズに対応できる公園整備に近づけることができると考えます。

また、三朝町には、豊かな自然や温泉資源があります。まずは、本町に暮らす人が、その恩恵を十分に感じることでできる施設を第一とし、三朝の特色ある公園を整備することで、近隣市町からの来場も期待されます。

(4) 住民参画と協働による構想の進め方

公園構想の進め方については、既にアンケート調査やワークショップでニーズを把握してきたところです。今後も、町民に身近で集いやすい公園になるよう、子育て当時者等との意見交換を大切にしていきたいところです。

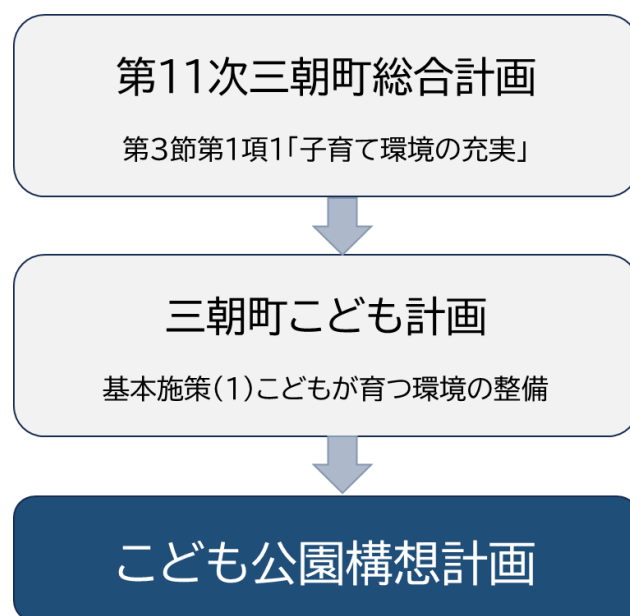
また、柔軟な視点、様々なノウハウを持つ民間業者と連携することも、この度の公園整備で取り組んで行きたいと考えます。



図：公園づくりにおける現状と課題の全体像

第2章 計画の位置づけ

三朝町では、町政の基本的な方針と施策を示す「第11次三朝町総合計画」を上位計画とし、「三朝町こども計画」との調整を図りながら、公園構想計画を策定します。



図：本計画と上位・関連計画との関係

第3章 構想の全体像

1 公園のコンセプト

「世代間交流の生まれるこども公園

～誰かに会える 誰もが集いたくなる 子育てと地域を結ぶ公園～」

- ・人口規模が小さい三朝町ならではの特徴を生かし、こどもから高齢者までが集い、世代間交流が生まれる公園を目指します。
- ・また、その交流により、地域ぐるみでの子育て支援や、心身の健康づくり、介護予防などの相乗効果が生まれ、生活に密着した公園になることを目指します。

2 公園の具体的なイメージ

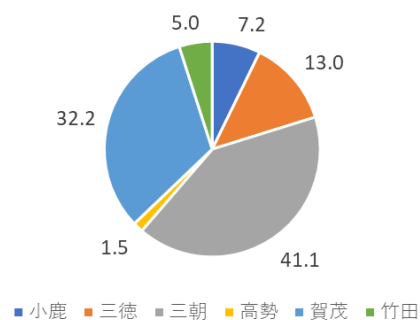
令和4年度に実施した町民を対象としたアンケート調査や、令和5年度の町民ワークショップから得られた主な意見は次の内容であり、これらを参考に、公園のイメージを具体化していきます。

- ・屋根があり全天候型、雨でも遊べる場所
- ・飲食できるスペース（カフェなど）とWi-Fi環境
- ・おじいちゃん、おばあちゃんもくつろげる場所
- ・足湯、温泉施設、三朝温泉を近くに感じることができる
- ・だだっ広い芝生、豊富な遊具の設置
- ・広い駐車場があり、催し物が開催できる
- ・自然があふれる、季節を感じ、自然に触れることができる

3 場所の検討

- ・こどもの人口が集中しているのは、三朝地区、賀茂地区で、それぞれ町内全児童数（中学生以下）の41%、32%を占めています。
- ・親が公園を選ぶ理由として、「自宅に近いこと」と回答した人が37%で、「遊具が充実している」に次いで2番目に多かったことを踏まえ、どの地域からもアクセスしやすく、広い駐車場が確保できる場所を検討します。
- ・こどもの成長段階に応じて遊びの内容が変化していきます。年齢に応じて遊び場を選べることや、自然環境を生かした遊びや過ごし方ができるなど、目的の異なる公園を整備し、多様な遊び方を提案していきます。

三朝町の0～14歳年代の分布（％）



第4章 構想の各イメージと方針、対象年齢

1 各公園の将来像と役割

事業名	① 日帰り入浴施設併設事業	② 旧三朝小学校を利用した遊び場整備事業	③ 既存公園の再整備事業
整備場所	三朝町山田	旧三朝小学校校舎（三朝町大瀬）	中の島公園（三朝町牧）
方針・特徴	・「温泉を活用した健康まちづくり事業」で進行中の日帰り入浴施設の整備と連動 ・入浴施設と公園を併設	・旧三朝小学校内に遊び場を整備 ・屋内と屋外にそれぞれ遊具を設置	・既存公園に遊具を設置 ・自然を生かした遊びを提案
理想的なイメージ・将来像	・天候を気にせず遊べる ・飲食スペース、Wi-Fi環境 ・特色ある遊具 ・温泉施設など、三朝温泉を感じる ・催し物	・天候を気にせず遊べる ・小さいこども向け遊具で、安全に遊べる ・屋内、屋外に遊具がある ・Wi-Fi環境	・だだっ広い芝生 ・自然があふれ、四季を感じる、自然にふれることができる ・特色ある遊具
【共通事項】・広い駐車場 ・おじいちゃん、おばあちゃんもくつろげる			
対応する天候	全天候	全天候	雨、雪以外
事業主体	企画健康課、民間と連携	企画健康課と連携	町民課
利用対象者			
幼児	●	●	▲ 3歳頃から
小学生	●	▲ 低学年程度まで	●
中・高校生	●	—	▲
町外者	●	—	●
その他	● 観光客	▲ 校舎を活用する人	— 通りがかりの人

※様々な調整や、町民等の意見をお聞きする中で、変更となる場合があります。



2 個別の具体的なイメージ

(1) 日帰り入浴施設併設事業【新設】

公園コンセプト

こどもから高齢者までが集い、世代間交流の推進につながる公園

立地条件

三朝町山田

三朝温泉街の入り口に位置し、町総合スポーツセンター、みさきこども園、健康むら、三朝温泉病院に近い立地。



理想的なイメージ（案）

- ・日帰り入浴施設に併設された公園
（共有部分には、駐車場、飲食スペース、Wi-Fi 環境などを有す）
- ・遊具の上には屋根があり、天候を気にせず遊べる
- ・特色ある遊具（幼児用～小学生向け）
- ・芝生、東屋
- ・催しの開催

【対象年齢など】

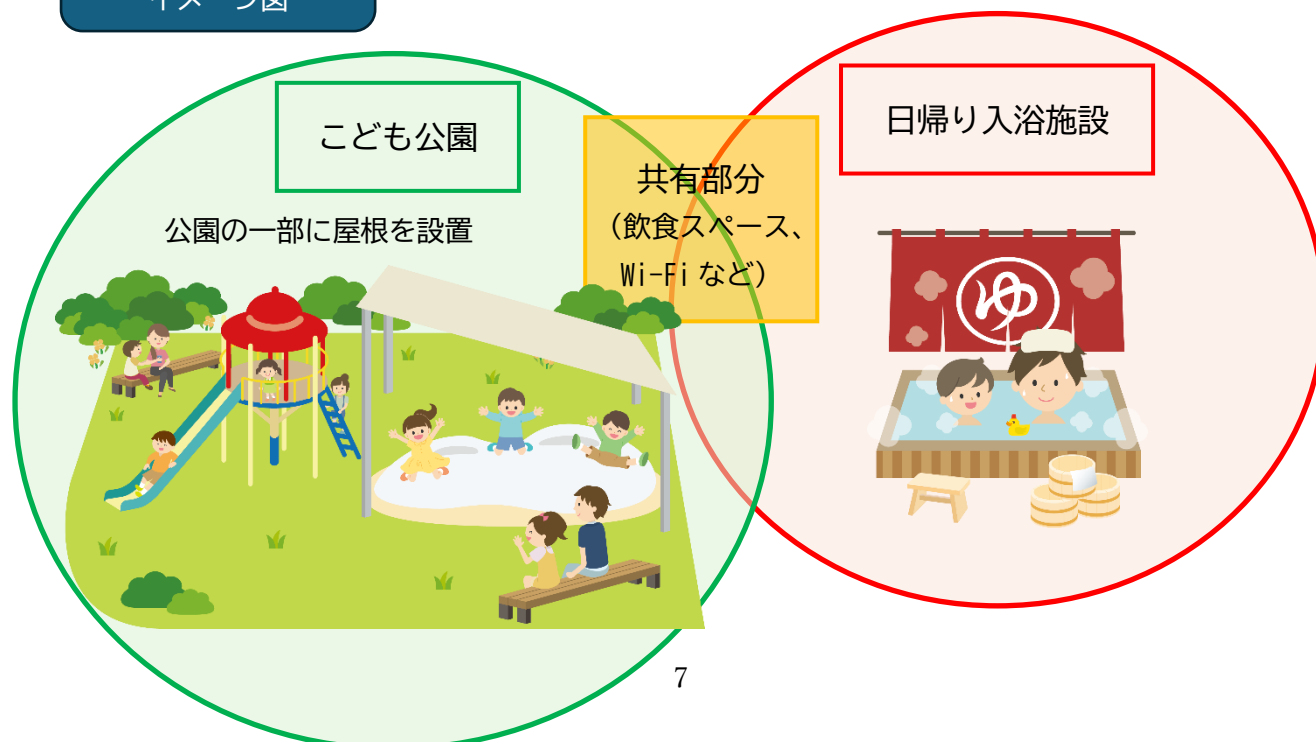
幼児	小学生	中高生	町外者	観光客
●	●	●	●	●

スケジュール感（案）

R7 年度～

温泉施設整備事業と連動

イメージ図



(2) 旧三朝小学校を利用した遊び場整備事業【利活用】

公園コンセプト

低年齢のこどもが安全な環境の中で、のびのび遊べる場所
(生後6か月頃から)

立地条件

三朝町大瀬
(旧三朝小学校校舎)

旧校舎は、現在は西学童クラブのみが使用している。今後、改修工事を行い、地域協議会やシルバー人材センター等と共用する予定。



理想的なイメージ (案)

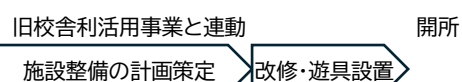
- ・雨の日も遊べる
- ・屋内、屋外に遊具やベンチを設置
- ・低年齢向けの遊具 (幼児用～小学校低学年)
- ・訪れる地域の人と触れ合える

【対象年齢など】

幼児	小学生	中高生	町外者	観光客
●	▲			

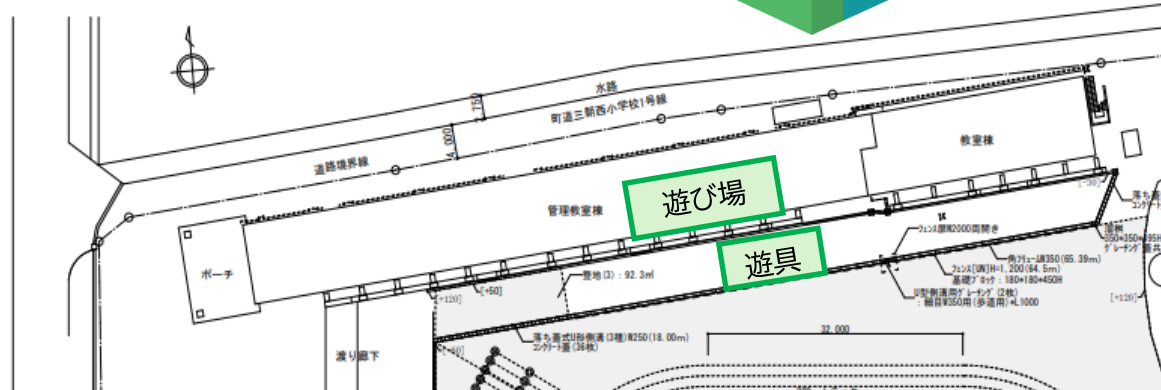
スケジュール感 (案)

R7～R8 年度



イメージ図

旧三朝小学校 1 階



(3) 既存公園の再整備事業（中の島公園）【再整備】

公園コンセプト

遊具で遊んだり、自然を生かした遊びを創造して楽しむ公園

立地条件

三朝町牧
（中の島公園）

国道 179 号線沿いにあり、横に竹田川が流れる。役場から車で 5 分程度。だだっ広い広場があり、桜の名所としても知られる。



理想的なイメージ（案）

- ・複合遊具を設置
- ・四季を感じ、自然に触れることができる施設
（桜の花見、芝生でピクニック、芝生滑り、アウトドア、川遊びなど）
- ・芝生、東屋
- ・こども会、運動で利用できる

【対象年齢など】

幼児	小学生	中高生	町外者	観光客
▲ 3 歳頃～	●	▲	●	

スケジュール感（案）

R7～R8 年度		
設計、予算協議	遊具設置	開所

イメージ図



第5章 参考資料

1 こども公園構想に係る町民アンケート調査の実施結果

目 的	こども公園を構想するにあたり、子育て世代を含めた町民の公園の利用実態や公園に対するニーズを把握し、今後の構想の方向性の参考にする。																						
調査対象	① 中学生までの保護者 370 人程度 ② 16 歳以上 50 歳未満の町民 530 人（無作為抽出 ※①を除く。） ※回収率を 40%と見込み 900 人を設定																						
調査期間	令和 4 年 11 月 28 日（月）から 12 月 16 日（金）まで																						
調査方法	紙媒体及び Google フォームでの回答																						
回答者数	341 世帯 回答率 37.9%																						
回答者の状況	① 年齢	10代 8.2% 20代 15% 30代 30.8%	40代 14.7% 40代以上 31.4%																				
	② 性別	男性 34.6% 女性 64.8%																					
	③ お住まいの地区	小鹿地区 5.6% 三徳地区 12.3% 三朝地区 42.8%	高勢地区 3.5% 賀茂地区 26.4% 竹田地区 9.4%	* 0 ～ 14 歳年代の人口分布に近い割合となった。																			
	④ 同居家族の状況	複数回答																					
		<table><tr><td>3 歳未満の児童</td><td>50 (14.7%)</td></tr><tr><td>3 歳以上就学前の児童</td><td>76 (22.3%)</td></tr><tr><td>小学生（1 ～ 3 年）</td><td>69 (20.2%)</td></tr><tr><td>小学生（4 ～ 6 年）</td><td>51 (15%)</td></tr><tr><td>中学生</td><td>70 (20.5%)</td></tr><tr><td>16 歳以上 18 歳未満の児童</td><td>41 (12%)</td></tr><tr><td>配偶者</td><td>169 (49.6%)</td></tr><tr><td>ご自身や配偶者の親</td><td>132 (38.7%)</td></tr><tr><td>その他の親族・家族</td><td>102 (29.9%)</td></tr><tr><td>同居家族はいない（ひとり暮らし）</td><td>16 (4.7%)</td></tr></table> * 複数回答のため、重複している者もあるが、子育て世代の回答を多く得ることができた。			3 歳未満の児童	50 (14.7%)	3 歳以上就学前の児童	76 (22.3%)	小学生（1 ～ 3 年）	69 (20.2%)	小学生（4 ～ 6 年）	51 (15%)	中学生	70 (20.5%)	16 歳以上 18 歳未満の児童	41 (12%)	配偶者	169 (49.6%)	ご自身や配偶者の親	132 (38.7%)	その他の親族・家族	102 (29.9%)	同居家族はいない（ひとり暮らし）
3 歳未満の児童	50 (14.7%)																						
3 歳以上就学前の児童	76 (22.3%)																						
小学生（1 ～ 3 年）	69 (20.2%)																						
小学生（4 ～ 6 年）	51 (15%)																						
中学生	70 (20.5%)																						
16 歳以上 18 歳未満の児童	41 (12%)																						
配偶者	169 (49.6%)																						
ご自身や配偶者の親	132 (38.7%)																						
その他の親族・家族	102 (29.9%)																						
同居家族はいない（ひとり暮らし）	16 (4.7%)																						

	⑩ 公園にあれば良い と思う施設・設備 複数回答で、多かった回答を抜粋 <table><tr><td>芝生広場</td><td>135 (39.9%)</td></tr><tr><td>屋根付き広場</td><td>115 (34%)</td></tr><tr><td>野外ステージ</td><td>12 (3.6%)</td></tr><tr><td>複合遊具</td><td>145 (42.9%)</td></tr><tr><td>健康遊具</td><td>68 (20.1%)</td></tr><tr><td>キャンプ場</td><td>46 (13.6%)</td></tr><tr><td>焚火・バーベキュー場</td><td>52 (15.4%)</td></tr><tr><td>水遊び・川遊び場</td><td>51 (15.1%)</td></tr><tr><td>ランニング・ウォーキン...</td><td>63 (18.6%)</td></tr><tr><td>ドッグラン</td><td>27 (8%)</td></tr><tr><td>テニスコート</td><td>22 (6.5%)</td></tr><tr><td>バスケットコート</td><td>49 (14.5%)</td></tr><tr><td>スケートボードパーク</td><td>10 (3%)</td></tr><tr><td>カフェ・レストラン</td><td>83 (24.6%)</td></tr><tr><td>ユニバーサルトイレ</td><td>72 (21.3%)</td></tr><tr><td>着替え・授乳スペース</td><td>37 (10.9%)</td></tr></table>	芝生広場	135 (39.9%)	屋根付き広場	115 (34%)	野外ステージ	12 (3.6%)	複合遊具	145 (42.9%)	健康遊具	68 (20.1%)	キャンプ場	46 (13.6%)	焚火・バーベキュー場	52 (15.4%)	水遊び・川遊び場	51 (15.1%)	ランニング・ウォーキン...	63 (18.6%)	ドッグラン	27 (8%)	テニスコート	22 (6.5%)	バスケットコート	49 (14.5%)	スケートボードパーク	10 (3%)	カフェ・レストラン	83 (24.6%)	ユニバーサルトイレ	72 (21.3%)	着替え・授乳スペース	37 (10.9%)
芝生広場	135 (39.9%)																																
屋根付き広場	115 (34%)																																
野外ステージ	12 (3.6%)																																
複合遊具	145 (42.9%)																																
健康遊具	68 (20.1%)																																
キャンプ場	46 (13.6%)																																
焚火・バーベキュー場	52 (15.4%)																																
水遊び・川遊び場	51 (15.1%)																																
ランニング・ウォーキン...	63 (18.6%)																																
ドッグラン	27 (8%)																																
テニスコート	22 (6.5%)																																
バスケットコート	49 (14.5%)																																
スケートボードパーク	10 (3%)																																
カフェ・レストラン	83 (24.6%)																																
ユニバーサルトイレ	72 (21.3%)																																
着替え・授乳スペース	37 (10.9%)																																
	⑪ こどもの遊び場で 困っている点 ※過去に困ったを含む 5段階回答で、「困っていると思う」「どちらかとい うとそう思う」の合計が多い上位3位 天候を気にせず遊べる場所がない 282 人 近くに遊べる場所がない 243 人 年齢に合った遊具がない 213 人																																
	⑫ 公園の整備（新規、 再整備、既存）の方 法について 5段階回答で、「そう思う」「どちらかというとな そう思う」の合計が多い順 今ある公園の再整備 246 人 新規に整備 188 人 既存公園で十分 62 人																																
公園構想 に向けて (まとめ)	・ 現在公園を利用している人（6割強）のうち、多くの人が、近隣の倉吉市や湯梨浜町の公園に出かけている。 ・ 公園を選ぶ理由としては、大規模な複合遊具や芝生広場があり、安心してこどもを遊ばせることができること、屋根付き広場、開けた環境、飲食等ができること、大人もゆっくり過ごせることなどがあげられている。 ・ こどもの遊び場で困っていることは、雨天などでも気兼ねなく遊べる場所がないこと、近くに遊べる場所がないこと、年齢にあった遊具がないことがあがっている。 ・ 公園の整備方法では、今ある公園で十分だという人は少なく、今ある公園の再整備と、新規の整備を望む声が多い。																																

こども公園構想に関するワークショップ実施結果

【1回目】

目 的	一番の利用者である児童保護者の公園に対する夢、思いを引き出し、構想のイメージをつかむ。
参 加 者	子育て世代の保護者等 9名
開催日時	令和5年10月20日（金）午後7時から午後8時50分まで
場 所	三朝町役場
開催方法	参加者を2グループに分かれ、こどもと親の視点で自由に公園の意見を出し合い、類似の意見をまとめた（KJ法）。
主な提案	【1グループ】 キーワード 「目指せ来場者6万人!!! 家族みんなで楽しめる三朝ならではの公園」 ・大人と一緒に学び、体験できる ・大人がゆったりと見守ることができる ・温泉と飲食が利用できる ・自然体験を提供する 【2グループ】 キーワード 「三朝の資源（自然・温泉・人）を生かした 親子で遊ぶ・学ぶ+αの公園」 ・祖父母世代も活躍できる交流と学びの場 ・おいしい食べ物と温泉利用 ・自然の活用 ・民間の力も借りる
公園構想に向けて（まとめ）	・参加者は子育て中の方から終えられた方までさまざまであったが、町内にこどもと一緒に楽しむことができる場所を求める気持ちは同じであった。 ・公園単体ではなく、三朝ならではの温泉（施設）と絡めた整備を求める声も多く聞かれ、他市町にはできない相乗効果の可能性を感じた。 ・整備事例について簡単に説明はしたが、官民連携について具体的な企業名が出るなど関心の高さも伺え、整備については従来の手法にこだわらず検討していく余地があると思われる。

【2回目】

目 的	一番の利用者である児童保護者の公園に対する夢、思いを引き出し、構想のイメージをつかむ。 ※昼間しか参加できない対象者のため、出かけやすい時間に2回目を開催した。
参 加 者	子育て世代の保護者等 5名
開催日時	令和5年11月27日（月）午前10時から午前11時10分まで
場 所	地域子育て支援センター
開催方法	1グループで、こどもと親の視点で自由に公園の意見を出し合い、類似の意見をまとめた（KJ法）
主な提案	キーワード 「三朝ならではのラドン公園」 ・ 管理人が常駐し、幼児も安心して遊べる公園 ・ いろいろな体験（触れる、感じる、動く）ができる公園
公園構想に向けて（まとめ）	・ 参加者は、就園前の子育て世代の母親が中心で、幼児でも安心して安全に遊べる公園を望む声が多く聞かれ、こどもでひとくくりにする考え方を改める余地があると感じた。 ・ 前回と同様に、どこにでもある公園ではなく「三朝だから行きたい」と選ばれる公園整備が今後のカギになると思われる。

